

第1回 親子会議報告 (2011. 6. 24)

堅倉小学校

第1回親子会議へのご協力、ありがとうございます。

大震災から三ヶ月余りが過ぎました。災害の傷跡も未だ癒えておらず、余震の心配もしながらの生活が続きます。そんな中で今回の親子会議のテーマは「確認しよう わが家の非常ルール」としました。

災害はいつやってくるか分かりません。地震に対する備えについて話し合っていた時「今、最も盲点となっているのは、登下校時なのではないか。学校に来る途中地震が起きたらどうするのか、帰る途中に起きたらどうするのか。」「一人でいるときに地震が発生したら子どもたちはどうすればいいかわかっているだろうか。」そんな声を受けてのテーマです。

第1回目には重すぎるテーマかとも思いましたが、感想を読ませていただくと、貴重な話し合いがなされたようです。各ご家庭のご協力に感謝いたします。

第1回親子会議の報告として、大きな地震がおきたらすること、親子会議の感想等を以下紹介させていただきます。

大きな地震が起きたら ほく わたしは なにをすればいい・・・

避難場所を目指す／安全を確保する／大人がいれば大人と一緒にいる／倒れそうなものから離れて頭を低くしてしゃがむ／打ち合わせの場所に行く／まずはあわてない／塀などから離れる／ランドセルを頭に乗せる／(朝はバスなので)運転手さんの言うことを聞く／登校班の班長さんと一緒に動く／一人にならない

第1回親子会議の感想・・・

とても難しいテーマです。特に登下校の途中に起きたら・・・考えれば考えるほど悩みます。確実なルールづくりにはもう少し時間がかかりそうです。／登下校中に地震がきたときの対策については話し合っていなかったのですごくいい機会になりました／親が思う以上に地震を身近に感じ自分なりに避難の仕方をしっかりと考えているようでとても安心した／身内だけでなく通りすがりの人々の顔を見ては「無事でよかった」と思ったのを覚えています。どんな時も助け合っていかなければいけないと実感した経験でした／じしんがだいぶすくなくなってきたよかったですけどまた大きなじしんがあったらこわいとおもうので気をひきしめていたいとおもう。／とても怖い思いをしました。ただ今もその影響に苦しんでいる人々がいることを忘れないようにしたいと話しました。／日頃からの訓練や必要最小限の非常食・防災用品の準備を心掛けたいです。／地震の時、何をしたら良いのか、どうしたらよいのか、経験して初めて子どもたちと話し合いました。／3月11日家族全員私と同じ気持ちだったことが分かりました

最後にすてきな会議名を紹介します

にこにこかいぎ／〇〇家堅小会議／わいわい会議／ぜんいん集合かいぎ／ひまわりかいぎ／ふりかえり会議／やるきもりもり会議／ふれあい会議／会議だよ全員集合／みんなでサミット／堅倉っ子会議／〇〇家首脳会議